PATENT COOPERATION TREATY

PCT

INTERNATIONAL PRELIMINARY REPORT ON PATENTABILITY

(Chapter I of the Patent Cooperation Treaty)

(PCT Rule 44bis)

Applicant's or agent's file reference 62003101PC	FOR FURTHER ACTION	See item 4 below	
International application No. PCT/JP2004/009852	International filing date (day/month/year) 09 July 2004 (09.07.2004)	Priority date (day/month/year) 10 July 2003 (10.07.2003)	
International Patent Classification (8th See relevant information in Form P	n edition unless older edition indicated) PCT/ISA/237		-
Applicant NICHIA CORPORATION			

1.	This international preliminary report on patentability (Chapter I) is issued by the International Bureau on behalf of the International Searching Authority under Rule 44 bis. 1(a).						
2.	This REPORT consists of a total	ORT consists of a total of 4 sheets, including this cover sheet.					
	In the attached sheets, any reference to the written opinion of the International Searching Authority should be read as a reference to the international preliminary report on patentability (Chapter I) instead.						
3.	3. This report contains indications relating to the following items:						
	Box No. I	Basis of the report					
	Box No. Π	Priority					
	Box No. III	Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability					
	Box No. IV	Lack of unity of invention					
	Box No. V	Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement					
	Box No. VI	Certain documents cited					
	Box No. VII	Certain defects in the international application					
	Box No. VIII	Certain observations on th	ne international application				
4.	4. The International Bureau will communicate this report to designated Offices in accordance with Rules 44bis.3(c) and 93bis.1 but not, except where the applicant makes an express request under Article 23(2), before the expiration of 30 months from the priority date (Rule 44bis.2).						
			Date of issuance of this report 16 January 2006 (16.01.2006)				
	The International Bure		Authorized officer				
	34, chemin des Col 1211 Geneva 20, Sv		Masashi Honda				

Telephone No. +41 22 338 70 10

Facsimile No. +41 22 740 14 35 Form PCT/IB/373 (January 2004) 発信人 日本国特許庁 (国際調査機関)

	7				
出頭人代理人 					
様					
あて名	DECEIVED				
T 770-0871	101				
徳島県徳島市金沢1丁目5番9号	国際調査機関の見解書 2 SEP 2004 (法施行規則第40条の2) 2 SEP 2004				
·	(PCT規則43 02_1) PCT WIPO PCT				
	第送日 (日.月.年) 21 2 200 4				
出願人又は代理人	31. 6. 2004				
の告類記号 62003101PC	今後の手続きについては、下記2を参照すること。				
国際出願番号 国際出願日	優先日				
PCT/JP2004/009852 (日.月.年) 09.	07. 2004 (日.月.年) 10. 07. 2003				
国際特許分類(IPC)Int.Cl' H01S5/02	8				
出願人(氏名又は名称) 日亜化学工業株式会社					
1. この見解告は次の内容を含む。 X 第 開 見解の基礎					
○ 第1個 見解の基礎					
第Ⅲ欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可	能性についての見解の不作成				
第17個 発明の単一性の欠如					
× 第V榔 PCT規則43の2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、 それを裏付けるための文献及び説明					
第VI欄 ある種の引用文献					
第VU欄 国際出願の不備					
■ 第四欄 国際出願に対する意見					
2. 今後の手続き					
国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさ					
ない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見	に国际的宣传機関の兄所哲を国际了個者登機関の見解哲とみなさ 見解書は国際予備審査機関の最初の見解哲とみなされる。				
	かなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日か				
り3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する	5期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に 適当				
な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる					
さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照す	「ること。 `				
3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を を	除すること。				
見解許を作成した日 11.08.2004					
名称及びあて先 日本国特許庁(ISA/JP)	特許庁審査官(権限のある職員) 2K 3498 道祖土 新著 2K 3498				
郵便番号100-8915					
東京都千代田区版が 関三丁目 4 番 3 号	電話番号 03-3581-1101 内線 3253				

第1欄 見解の基礎	
1.この見解容は、下	記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎として作成された。
この見解書は、それは国際調査	語による翻訳文を基礎として作成した。 をのために提出されたPCT規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の言語である。
2. この国際出願で開 以下に基づき見解	示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 客を作成した。
a. タイプ	配列表
	配列表に関連するテーブル
b. フォーマット	
	コンピュータ読み取り可能な形式
c. 提出時期	出願時の国際出願に含まれる
	この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された
	出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された
	表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出し 時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出が
4. 補足意見:	
	•
•	
1	•

. 見解			
新規性 (N)	請求の範囲 請求の範囲	1-21	
進歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲	1-21	
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 請求の範囲	1-21	

文献1:JP 2000-196199 A (日亜化学工業株式会社)

2000.07.14 , 全文, 全図

文献2: JP 2002-76518 A (ソニー株式会社)

2002.03.15 , 全文, 全図

& US 2002/064195 A1

文献3: JP 2002-100830 A (日亜化学工業株式会社)

2002.04.05 ,全文,全図

文献4:JP 11-154770 A (沖電気工業株式会社)

1999.06.08,全文,全図

文献 5: JP 2002-314198 A (ソニー株式会社)

2002.10.25 ,全文,全図

文献 6: JP 8-191171 A (日亜化学工業株式会社)

1996.07.23 ,全文,全図

請求の範囲1-21

窒化物半導体レーザにおいて、活性層からの発光を吸収してその発光波長よりも 長波長の励起光を発光する励起領域と、励起光に対して高反射率の端面保護膜とを 備えることは、国際調査報告に引用されたいずれの文献にも記載されておらず、当 業者にとって自明なものでもない。